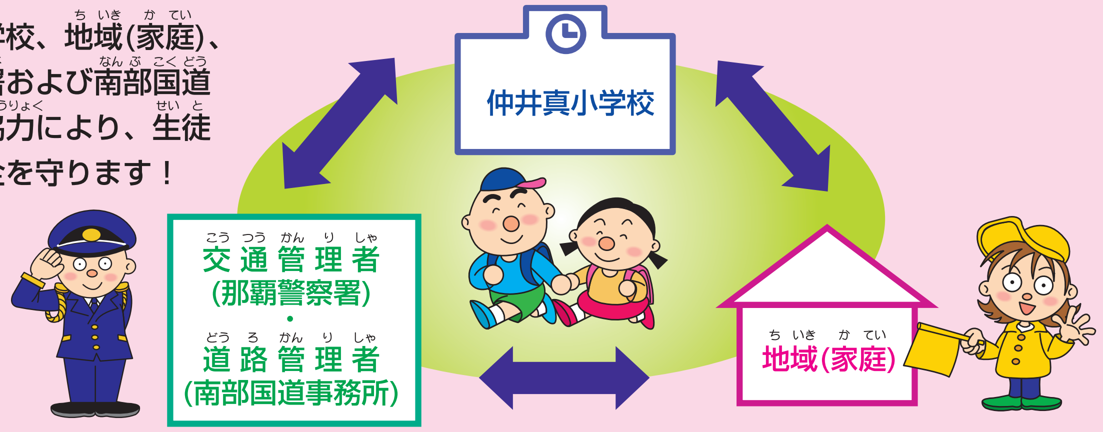
交通事故をなくすための活動

仲井真小学校、地域(家庭)、那覇警察署および南部国道事務所の協力により、生徒たちの安全を守ります！


仲井真小学校
交通管理者
(那覇警察署)
・
道路管理者
(南部国道事務所)
地域(家庭)

仲井真小学校の活動

交通事故をなくすためにどうすればいいのかしっかり考えましょう！

仲井真小学校区
安全マップ
那覇市立仲井真小学校

安全マップの作成

安全学習の実施

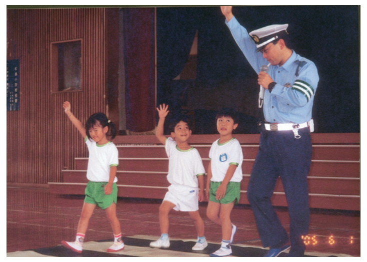
地域(家庭)の活動

みどりのおじさん、おばさん(PTA)の指示をしっかり守りましょう！

朝の立哨活動の様子

交通管理者(那覇警察署)の活動

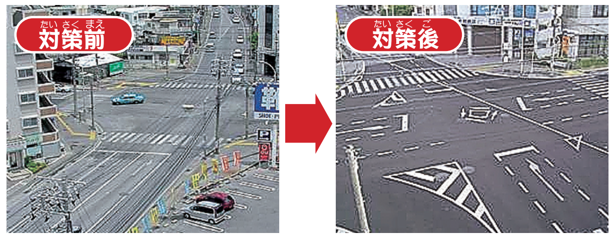
日々の交通指導取締りや交通安全教育などに取り組んでいます。



交通安全教室の様子

道路管理者(南部国道事務所)の活動

国場交差点が走りやすくなりました！



白線をしっかり書いて走りやすくしました!

右折車線をカラー舗装にして分りやすくしました!

だれもが歩きやすいバリアフリーな歩道整備

車椅子の方や目の不自由な方の立場に立って検証・工事を行います。

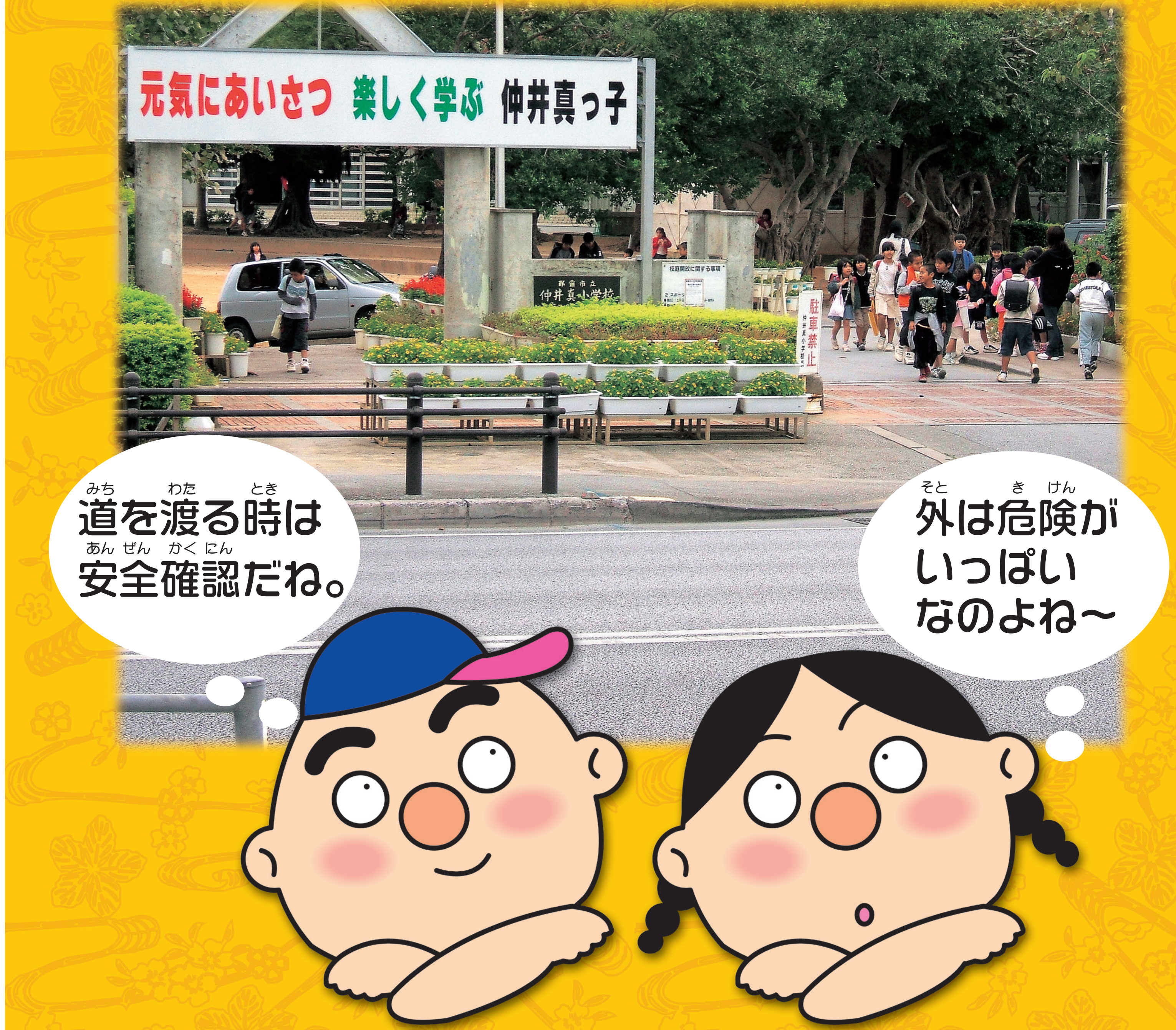
みなさんが安全・安心できる
道づくりを目指しています！

内閣府　沖縄総合事務局
南部国道事務所
交通対策課　TEL098-861-2336
http://www.dc.ogb.go.jp/nankoku/

平成19年2月　作成

交通安全マップ

仲井真小学校


元気にあいさつ　楽しく学ぶ　仲井真っ子
道を渡る時は安全確認だね。
外は危険がいっぱいなのよね～

内閣府　沖縄総合事務局
南部国道事務所

1.はじめに

交通事故は、ちょっとした不注意や思いもよらぬ事から発生します。

仲井真小学校の皆さんは、いつも交通安全についてのルールを守っていると思いますが、それでも事故はいつおきるか分かりません。

全国でおきた交通事故や仲井真小学校のまわりでおきている交通事故の状況を見ながら、どうすれば事故を防ぐことができるのか考えてみましょう。

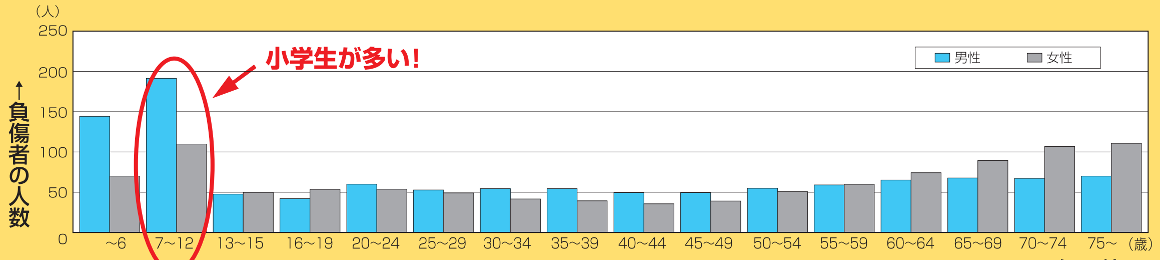
横断歩道は手をあげてわたろうね

1-1.全国でおきた歩行者の交通事故について

全国で1年間におきた交通事故は約930,000件です。これは1日に約2,500件の交通事故がおこっていることになります。

その中で、歩行者の**負傷者数**は、約**86,000人**（その内15才以下の子供が約22,000人（25%）、**死者数**は、約**2,300人**（その内65才以上の高齢者が約1,500人（65%））となっています。

子供から大人までの事故で負傷した人をグラフで見ると、7才から12才の小学生にもっとも負傷者が多いことがわかります。

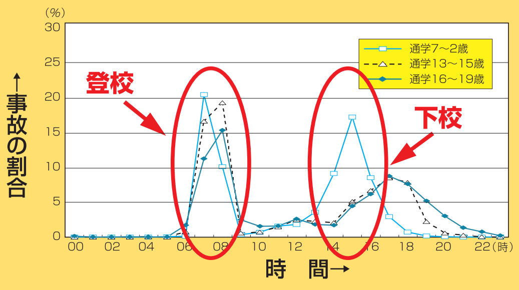


性別・年齢層別の人口10万人あたり歩行中負傷者数（平成14年）

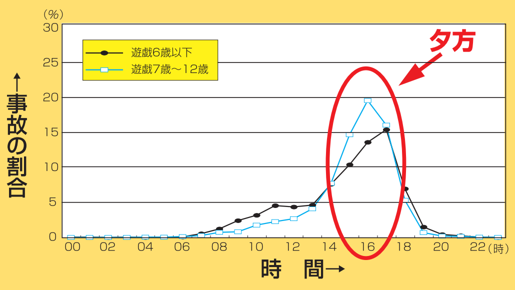
1-2.交通事故はいつおきているの？

歩行中の事故にあいやすい子供に注目して、「①登校・下校のとき」と「②遊んでいるとき」では事故が何時に多くおこっているのか見てみましょう。

このグラフからは、朝・夕の登下校の時や、学校が終わったあとの夕方遊んでいる時に集中して事故が発生していることがわかります。



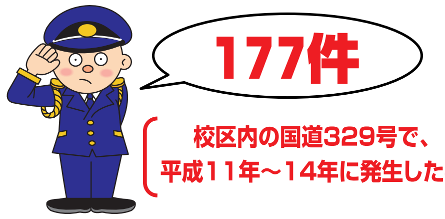
①登校・下校のとき



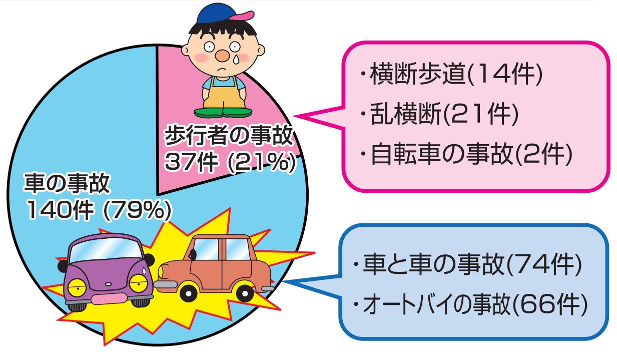
②遊んでいるとき

2.仲井真小学校付近の交通事故について

仲井真小学校付近では、毎日5万台以上の車の通行と1,000人以上の人の通行があり、交通事故もたくさん発生しています。



校区内の国道329号で、
平成11年～14年に発生した事故

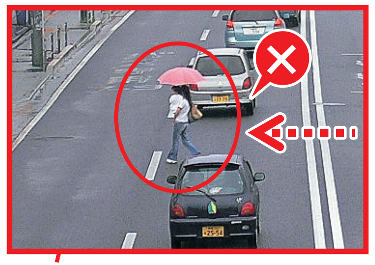


★登下校時には、必ず決められた**通学路**を通りましょう。

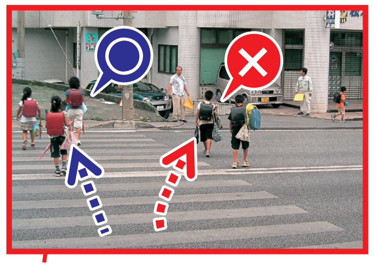
★近くに**横断歩道・歩道橋**がある場合は、必ずそこを渡りましょう。

★道路を横断するときは、**「青信号でも、渡る前に必ず右と左の安全を確かめよう!」**

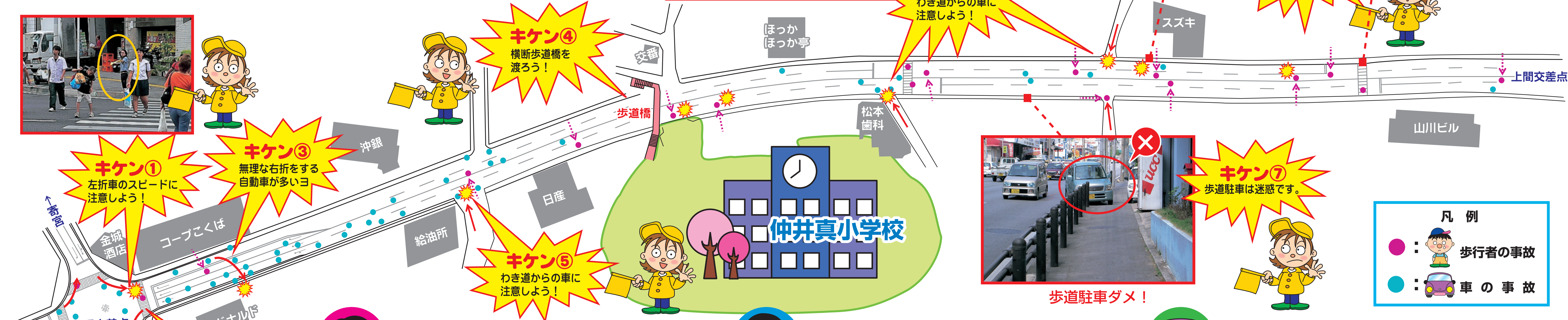
「横断中も、周りの車に注意しよう!」



車道横断ダメ！

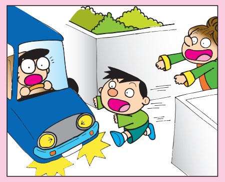


横断歩道を渡ろう！


キケン①
左折車のスピードに注意しよう！
キケン②
急いでいる児童が赤信号でも無理に渡ろうとする
キケン③
無理な右折をする自動車が多いヨ
キケン④
横断歩道橋を渡ろう！
キケン⑤
わき道からの車に注意しよう！
キケン⑥
わき道からの車に注意しよう！
キケン⑦
歩道駐車は迷惑です。
キケン⑧
横断歩道を渡ろう!
←寄宮
金城酒店
コープこくば
国場交差点
マクドナルド
仲井真→
沖銀
給油所
日産
交番
歩道橋
ほっか ほっか亭
松本歯科
スズキ
山川ビル
上間交差点→
仲井真小学校
歩道駐車ダメ！
凡　例
●：歩行者の事故
●：車　の　事　故

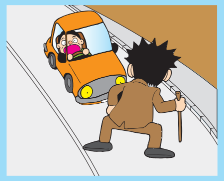
こどもの事故

子どもの事故は、朝・夕の登下校のときや遊んでいる時間に多く発生しています。特に横断歩道での事故も多く、道路への急な飛び出しが代表的な事故の原因です。

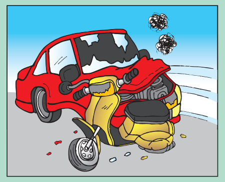


おとなの事故

大人・高齢者の事故は、夕方から夜にかけて多く発生しています。特に乱横断（横断歩道のない場所での横断）による事故が多く、広い道路で無理な横断をしていることが代表的な事故の原因です。



運転者の事故

運転者の事故は、朝の子どもの登校時間と重なる時間と、夕方の暗くなりかけた時間に多く発生しています。